

夏毛鉤を持って緑あふれる渓のヤマメ&イワナに会いにいく!

Fly Rodders

[フライロッダーズ]

FlyFishing Magazine

9月号

特集

夏渓流 さらの一匹!!

もっと釣るために夏の戦術 杉坂研治

ねじ込むアプローチ

尺上の時合 渋谷直人

コントローラブル・パターン考 嶋崎了

差す魚 里見栄正

私の夏毛鉤

渓で一泊

和洋毛鉤釣り座談会

綾部丹堂×宇田清×湯川豊

巻頭グラフ

サーモンの季節が
やってくる!

タイイング

ニジマス・アメマス・サーモン

北海道キラー・パターン 漆原孝治



C&R区間の設置、特別解禁の実施など新しい試みに取り組んできた両毛漁協



群馬県の両毛漁業協同組合組合長の中島淳志さん。奥羽大学卒。アパレル関係の仕事のかたわら、漁協に従事している。2010年、組合長に就任。釣り専門誌に執筆し、フライフィッシング講師も務める



気持ちのよい広々とした渡良瀬川の釣り場（写真提供＝両毛漁業協同組合、以下同）

問題が多くかつた組合員が得をするような状況

——全国にある多くの漁協は縮小の傾向にありますが、両毛漁協ではいかがですか？

「最盛期のとき、組合員は700人を超えていたのですが、現在の組合員は約220人で、役員が15人です。理事のうち、私も含めて、フライフィッシングがメインの方が8人います。現在は、40～50代前半の方が7人となり、7年前に私が理事になつたころに比べて、だいぶ平均年齢が若くなりました。大学卒業後、帰郷し2年後くらいに漁協の組合員になつたので、

群馬県の東部に位置する桐生市。そこをベースにする両毛漁協は、利根川支流で最大の流域面積を誇る渡良瀬川や、その支流である桐生川の本支流を管轄する漁協だ。内水面漁協が縮小していく傾向にあるなかで、両毛漁協では、その歯止めに取り組んできた。4年前に群馬県で歴代最年少の組合長が誕生してから、C&R区間、特別解禁日、ヤマメの親魚放流やワカサギの新しい増殖方法の導入、さらには食害の原因であるカワウの追い払いなどに挑戦。魚の命感あふれる川の環境を維持するには何が必要なのかを、組合長の中島淳志さんに聞いた。

——どこかの漁協の話ですが、組合員のなかには、自分たちだけが楽しめればいいんだ、魚の放流も自分の家の裏の川にする、と平然とという組合員がいたそうです。

「昔から組合に関わってきた方のなかには、私利私欲しか考えない人がいたのも事実です。投資したお金を上手に生かせず、赤字にな

構成＝酒井茂之（アクア・ルーム）

もう17～18年になります。入つてみるといろいろな問題に気がついて、組合に足しげく通っていたのですが、15年くらい前から地区の総代として、健全な経営をしようといつづけてきたわけです。7年前に理事になり、総務部長をやつてきて、いまから4年前の38歳のときに組合長になりました」といふ。38歳とは、若いですね。

「このへんで30代で組合長になつた例はないみたいですね。組合長を引き受け、昨年、1期目が終わり、今年から2期目に入ったわけですが、以前と比べて違つてきた部分は、漁協に興味をもつた若い人が入つてくれたことですね。もちろん年配の方でも、しっかりと考へ方をもつて組合運営にタッチしている人もいます。

しかし以前は昔からの考え方で、私は一般的釣り人からすればおかしいよな、ということをやつてきた組合員がいたのは事実ですね。

私は温故知新でやつていただきたいと思っています」

つても、自分たちが楽しめればいいんだ、という考え方がありましたがね。また、そういう話から漁協の印象を悪くし、漁協と釣り人と間に蟠りができてしまったようにも思えます。

桐生市は群馬県内でも、高齢化が一番進んでいる所ですし、組合員も高齢化が進み、組合をやめていく。だから、漁協の規模も縮小していきます。そのような状況ですから、自分たちだけいい思いをしたい、というのでは駄目ですね。でも、昔は、そういう雰囲気が漁協にも釣り人にも、釣り場全体にあったと思います。内水面の漁協が絶頂期の時代は活気もありよかつたかもしませんが、資源は無限大ではありません。そのときの現状に見合わない放流の仕方を、何年も続けてきたから衰退してしまったのだと思います。長年やつ



渡良瀬川の桐生地区で釣れた美しいヤマメ

うと声を上げていたんです。もちろん時代の流れもありますので、今やっているC & R区間の設置は、當時、挙がっていたC & R区間の話とはだいぶ形態が違いますけどね。なかなかできなかつたのは、

「群馬漁協によく話を通したね」と感心されました(笑)。昔からどちらかの漁協が提案すると、どちらかの漁協が反対する、ということが繰り返されてきたようですが、いまは違います。大きな前進だと思います】

【—両毛漁協と群馬漁協の管轄しているエリアが重なっているC & R区間では、それぞれの漁協さんが魚を放流しているのですか?】

【漁協には増殖義務がありますから、放流などをしています。漁業権河川ごとの最低呈示量はあります。群馬漁協のメインの河川は利根川だと思いますし、両毛漁協のメインは渡良瀬川ですか、放流量は全然違います】

——両毛漁協の管轄エリアは、どこからどこまでですか?
【最下流は渡良瀬川と桐生川の合流点から、最上流は草木ダムの上にある栃木県との県境までの渡良瀬川の本支流です。単独でうちが管理しているのは、桐生川とその支流で、遊漁証でいえばプラス梅田湖です。梅田湖を含む桐生川以外は、群馬漁協さんと完全に重なる例はあるのですが、完全にエリアが重なっているというのは、全国的に珍しいケースだと思いません】

——それだけの広いエリアを、どのような釣り場にしていきたいのでしょうか?
【ゾーニングは必須ですね。しかしゾーニングするにあたって、川をとり巻く環境のすべてを把握しなければなりません。そのひとつとして3年前からC & R区間を設定してきました。両毛漁協は、私が直接知っているなかでも、17年くらい前からC & R区間をつくる

券を持つた人が来ても、釣りはできる声を上げていたんです。もちろん時代の流れもありますので、今やっているC & R区間の設置は、當時、挙がっていたC & R区間の話とはだいぶ形態が違いますけどね。なかなかできなかつたのは、

「群馬漁協によく話を通したね」と感心されました(笑)。昔からどちらかの漁協が提案すると、どちらかの漁協が反対する、ということが繰り返されてきたようですが、いまは違います。大きな前進だと思います】

【—C & R区間とそうでない釣り場とで、釣り方に違いはありますか?】

【私は釣り方で分けたくない。よ

り公平に釣りを楽しめることが大切だと思います。だからエサ釣りでも、バーブレスフックを使用し、釣つたら極力、魚を弱らせないようリリースしてもらわねばいい。とかくエサ釣りの場合は、のみ込まれるケースがありますが、のみ込まれたら無理に外そうとせず、ハリスを切ってもらえれば大丈夫だといわれています。釣り人同士、釣り方が違うということで、いがみあわずに楽しんで欲しい。それ

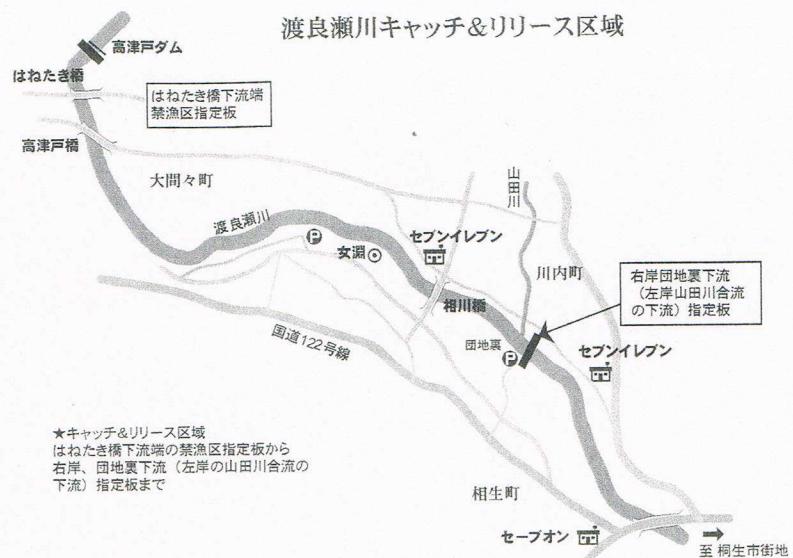
うと声を上げていたんです。もちろん時代の流れもありますので、今やっているC & R区間の設置は、當時、挙がっていたC & R区間の話とはだいぶ形態が違いますけどね。なかなかできなかつたのは、群馬漁協では、魚の乱獲を防ぐエサを管轄している群馬漁協さんは説得することでした。組合は理事会で決定したことを総代会で決を採るんですが、今回は、満場一致で賛成してくれました。皆さん、「群馬漁協によく話を通したね」と感心されました(笑)。昔からどちらかの漁協が提案すると、どちらかの漁協が反対する、ということが繰り返されてきたようですが、いまは違います。大きな前進だと思います】

【—放流している魚は、ヤマメですか?】

【ヤマメの稚魚と成魚と親魚、それに発眼卵です。成魚では尺前後のサイズの魚を放流しています。それでも、できるだけヒレなどもきれいな魚を厳選しています。この区間でリリースされて残った個体は、当然、大きくなりますから、よい型の魚が釣れるようになっています。渡良瀬川は規模があるので、いきなり成魚放流をやめてしまふと、魚がたくさんいる水域とは感じられない。ですから、再生産という自然の力に任せただけでは、まだ追いつかない部分がある。魚の命が得られるような水域にしていくには、成魚放流をしなければ追いつきませんね。

【私が釣り方で分けたくない。より公平に釣りを楽しめることが大切だと思います。だからエサ釣りでも、バーブレスフックを使用し、釣つたら極力、魚を弱らせないようリリースしてもらわねばいい。とかくエサ釣りの場合は、のみ込まれるケースがありますが、のみ込まれたら無理に外そうとせず、ハリスを切ってもらえれば大丈夫だといわれています。釣り人同士、釣り方が違うということで、いがみあわずに楽しんで欲しい。それ

瀬良瀬川キャッチ&リリース区域



「はい、○＆□区間
に近いロバビーでの
日釣券の売り上げが

の釣りで、ライズがなければいくら叩いても難しいです。しかし相川橋付近は、叩いても楽しめる時

があるポイントですね。だからといつてストリーマーやウェットの釣りも楽しめると説明しています。

渡良瀬川本流では6月2週目くらいから日中はほとんど釣り人がいなくなります。5月下旬ころから

日中のライズがなくなることと、
6月15日くらいから草木ダムの放
水が始まるので、水が増えてしま

う。ところが、6月中旬以降、実はストリーマーやウエットなどの水面下の釣りで大物が釣れるんで

す。いろいろな釣り方が楽しめる、ちょうどいい規模の川なんです」

一般市民の関心を引く 案山子の設置

——どこの漁協でも、カワウ対策に頭を悩ませていますが、両毛漁

協では案山子を設置しています。

一效果はありますか 実は二つ置しただけでは効果は薄いんです 稚アユや稚ヤマメを放流している

ので、その時だけはなんとか食害を防ごうということでやっていま

す。毎日、人を派遣してカワウの追い払いをするには経費がかかりすぎるので、リアルな案山子を記

置して、人も同じ格好をして通り払いをします。すると少しは効用がありますね。

実は案山子の効果は、カワウに
よる食害問題があるということを、
地域の多くの人に知つてもらいた
いという狙いもあるんです。案山
子が河原に設置してあると、幼児
や親御さんが見にいく。すると看
板があつて、川にこういう問題が
あるんだということを知るきっかけ
にもなるわけです。

案山子を設置するにしても、国
交省の許可を取るのが大変だつた。
今まで漁協と国交省の関係は、
河川工事をするとなると、喧嘩腰
で工事に反対するというつきあい
しかできなかつた。それではいけ
ないと、こちらも勉強して自然環
境に配慮した方法をお願いしたり、
魚の棲息場所を壊さないようの方
法を提案したりしてきました。案山
子の設置から始まつて、今まで
は河川工事や魚道の改修をするよ
うなときに、計画段階からタッチ
させてもらうようになりました。

魚の行動や生態系のことをきちん
と説明すれば、改修担当者も、理
解してくれるんです

――対立していくてもよい結果には
なりませんからね。

「カワウはただ駆除すれば減ると
いうほど簡単なことはありますま
せん。それならとつくなにカワウは減
つている。広域に計画性をもつて
確実に減らすことを考えています。
だからこそ、地域住民へのコンセ
ンサスを得るよう努めています。

釣りをしない市民の方は漁協のことをよく思っていないな、と子どもたちから感じていました。漁協サイドには「おらが川」という意識があって、他の人を寄せつけない雰囲気があった。でも、川はカワウにしても野鳥に興味のある人もいれば、河原の植物に関心をもつ人もいる。川をとり巻く環境のいろいろなことに興味をもつ人がいるんですから。魚が生きるために周辺の環境も大切ですね。ここいらへんは毎日川の堤防を散歩している方がたいへん多い所ですから、釣り人でなくとも事情を知つてくれている方は、無鑑札で釣つている人がいれば連絡してくれたり、カワウがいれば追い払ってくれたりするんです。漁協にどうてはとても助かりますし、ありがとうございます」

案山子を設置するにしても、国交省の許可を取るのが大変だった。今まで漁協と国交省の関係は、河川工事をするとなると、喧嘩腰で工事に反対するというつきあいしかできなかつた。それではいけないと、こちらも勉強して自然環境に配慮した方法をお願いしたり、魚の棲息場所を壊さないような方法を提案したりしてきました。案山子の設置から始まつて、今までは河川工事や魚道の改修をするようなときに、計画段階からタッチさせてもらつようになりました。魚の行動や生態系のことときちんと説明すれば、改修担当者も、理解してくれるんです」

——対立していくもよい結果にはなりませんからね。

「カワウはただ駆除すれば減るといふほど簡単なことはありません。それならとつにカワウは減つてゐる。広域に計画性をもつて確実に減らすことを考えてゐます。だからこそ、地域住民へのコソヤンサスを得るよう努めています。

のいろいろなことに興味をもつ人がいるんですから。魚が生きるためにには周辺の環境も大切ですね。ここいらへんは、毎日、川の堤防を散歩している方がたいへん多い所ですから、釣り人でなくても大事を知ってくれている方は、無鑑

札で釣っている人がいれば連絡してくれたり、カワウがいれば追い

にとつてはとても助かりますし、
ありがとうございます」

地域住民を取り込んで 進めていく釣り場づくり

——桐生川の上流にある梅田湖は、

一管五金のこしらへ一いぢ
すが、本来はそこをを目指している
わけではないんです。でも、いま

のやり方で釣り人が来て いますか
ら、ある意味、正しいと思うんで
すが、これも縮小してきたので、

それを打開する方法のひとつとして特別解禁を実施しました。遊漁

かけハリを使うので禁止にしてしまいます。でも、両毛漁協の全漁の遊漁証でレギュレーションを守つていれば、アユを釣つてもいいんですよ。もちろんこの区間ではリリースですが。ルアーの方も、特にミノーはバランスが崩れるから釣りづらいと思いますが、この区間では、このレギュレーションで工夫して楽しんでもらいたい」――C&R区間を設けて今年で3年目ですが、ここに来る釣り人は増えましたか?

「いえ、90%以上の方がドライブライガメインだと思います。川幅もあるし、伸び伸びと釣りができるというので、そこによさを感じる釣り人も多いんです。しかも、ふつう本流というと6番くらいのロッドで釣るイメージがありますが、低番手のロッドで、ドライブライで繊細な釣りもできるんです。水面がらみの釣りは、ライズを見つけての釣りになります。多くのポイントがマッチ・ザ・ハツチ

協では案山子を設置しています。
効果はいかがですか？

「効果はあります、案山子を設置しただけでは効果は薄いんです。稚アユや稚ヤマメを放流しているので、その時だけはなんとか食害を防ごうということでやっています。毎日、人を派遣してカワウの追い払いをするには経費がかかりすぎるのです。リアルな案山子を設置して、人も同じ格好をして追い払いをします。すると少しは効用がありますね。

させてもらうようになりました。
魚の行動や生態系のことをきちんと
と説明すれば、改修担当者も、理
解してくれるんです」
――対立していくてもよい結果には
なりませんからね。
「カワウはただ駆除すれば減るとい
うほど簡単なことではありません
。それならとっくにカワウは減
っている。広域に計画性をもつて
確実に減らすことを考えています。
だからこそ、地域住民へのコンサ
ルタントを得るよう努めています。

地域住民を取り込んで
進めいく釣り場づくり
——桐生川の上流にある梅田湖は、
管理釣り場なのですか？

規則で禁漁期間中に特別解禁日を設置したのは群馬県では初めてで、レギュレーションを設け、人数制限をし、コンディションのよい特大魚を入れるようにしたんです。今年で3年目ですが、だんだんと新規の釣り人が来てくれるようになりました」

「梅田湖には、どんな魚を放流しているのでしょうか？」

「ニジマスとヤマメ、それにワカサギです。過去にはヒメマスやブラウンも放流したことがあつたようですね。本当はもう少し管理釣り場とは差別化したかたちで、たとえばピンシャンのサクラマスが釣れるような湖にしたいのですが。ワカサギにしても分離卵による（筒式）という、孵化率が向上し経費を削減できる諏訪湖方式を3年前に導入しました。梅田湖は現状、観光地の湖ではないので、釣りができるなければ訪れる人が少ない。ですから、こういった小さな湖を有効利用して、釣り人に来てもらうには、それこそ漁協の出番だと思います」

「何が理想的な釣り場かを、どの漁協も摸索していると思うのですが、将来に向かつて両毛漁協では、どのような釣り場にしていくたいとお考えですか？」

「漁協としてはいまある現状より悪くしたくない、魚がたくさんいる環境、生命感あふれる川を目指して尽力しているんですが、釣り場を考えるときに、魚の放流はもちろんですが、魚が棲息する環境なども考えなくてはいけないと思います。魚の放流にしても、何をどうな方法で放流するかを考長し、定着するには、どんな環境であるべきかを摸索していくなかで、放流した魚が健康な状態で成長するには、どんな環境が必要ならないと思います。魚をとり巻く環境に関する事を、ひとつひとつよく理解し、だれが見て美しい魚が棲息している釣り場をつくりたいですね」

「釣り人からすれば、気持ちのよい自然のなかで、型のよいきれいな魚を釣りたいというのが、最大の願いだと思うんです。

「渡良瀬川は都心からも近く、河畔林の多い、水生昆虫が豊富な川です。市街地でもきれいな溪流魚が釣れる釣り場としての魅力がありますので、ゾーニング管理をして多様化する釣り人の要望に合った釣り場を設けていくことが必要だと思います」



食害をもたらすカワウの追い払いのために設置された案山子



渡良瀬川水系魚ふれあい振興会が主催するヤマメの放流体験

して尽力しているんですが、釣り

場を考えるときに、魚の放流はもちろんですが、魚が棲息する環境

なども考えなくてはいけないと思います。魚の放流にしても、何をどうな方法で放流するかを考

る子どももかなり減りました。そ

の子どもたちの親の世代がすでに川離れしているんですね。川に関心をもつてもらいたいという思い

で子ども向けの釣り教室などもたくさん開催しているのですが、実

釣する前に必ず、川で釣りをするには遊漁証が必要なんですよとい

うこと、遊漁規則があつて乱獲などから魚が守られているということ

と、そういうことをすべて管理しているのが漁協の仕事だということをお話しします。また、その

川に棲息している水生生物や、力

ワウによる食害の問題などをパネルを見てもらい説明し、それから

実釣も楽しんでもらうようにしています。トータルでやることが重

要だと思っています。釣りをする

のに、小学生以下は遊漁料は無料

ですが、ふだん、お父さん、お母

さんが釣りをするには遊漁証が必要ですよ、ときつちりと教えたりもします(笑)。

（渡良瀬川水系魚ふれあい振興会が主催して、フライフィッシングスクールなどもやっているのです）

そのあとも川遊びや釣りをするよ

うになるところまでつなげたい。

また、釣り人同士や周りの目で、ルール違反やモラルの守れない人

がいづらい環境をつくれれば理想的ですね。

いまさらですが、これまでま

りよくわかつてもらっていない漁協のことを知つてもらうことが必要ですね。漁協組合員も釣り人な

のですが、漁協と釣り人との間に

も大きな隔たりを感じるときがある。敵対心をもたれていると感じ

るときもある。釣りは楽しいもの

ですから、みんなで一緒にになって楽しみながら取り組んでなければ

いいな、と思います。

常々この先の漁協のことを考

えています。私はよく奇人・変人だ

といわれますが、これまで釣りに

行つたらいつ帰るのかもわからな

いようなことをずっとしてきましたから、すでに家族にはあきれられています(笑)。

漁協は限りなく公的な責任感が必要な仕事だと思っています。片手間でできる仕事ではありません。

真剣にやればやるほど自分の仕事

なんてやってられない。現役で仕事をしている方や、家庭を支えている方に手伝ってくれとはいづらい。これでは漁協もよくなるわけない。若い方がうちのような漁協を就職先として視野に入れられるようにならなくては。両毛漁協の規模なら、せめてふたりぐらいは最低賃金のお給料をもらえるようになります(笑)。

せめてすぐにでも進めたいと考えていることがあります。両毛漁協管内の渡良瀬川をホームリバーリーとしている方は県内外にたくさんいます。組合員になって手伝った

い気持ちはあるが、地域制限があつてなれないという方もいらっしゃる。ショットチャウ渡良瀬川に来ているし、やる気もあって、地元の釣り人よりもよっぽど詳しい方も当然いる。私もそうでしたが、漁協の仕事に興味や関心があり、ボランティアでも手伝いたいといふ方も意外に多いんですよ。地域の排他的な特権のようなものを取り払い、渡良瀬川が好きで、やる気のある方ならどなたでも漁協に参入できるような、そういう方向にできたらなと考えていました。